



試験的に行われた遠隔授業。生徒が青森市の配信拠点にいる教師から数学を教わった=9日、青森県立三戸高



生徒がタブレットに書き込む内容はリアルタイムで教師が確認できる

2027年度から小規模校などで導入を目指す青森県立高の遠隔授業について県教委は本年度、冬休みを利用して三戸など5校で試験運用を初めて行った。青森市の配信拠点で結んだ授業は大きな混乱なく終了。生徒からは「分かりやすい」「違和感はなかった」などの感想が上がった。県教委は26年度も試験を継続し、課題を整理する。少子化が進む中、学びの新たなスタイルの定着に取り組む。(加藤也也)

(加藤弘世)

小規模校新スタイル

青森県立高、遠隔授業初試行

隣近所と相談しながら解いてみよう

**三戸高など ⇄ 青森の配信拠点
生徒「違和感ない」**

聞上据 年原農理位 まさ度冒模に生

試験運用では2年後を見
え、1年生の数学を取り
げて1時間の補習を3日
行つた。

22年5月から巡回指導、監査認定されるのは数学と物理。三戸、野辺地、三本木工業の5校で手始めに3生を対象にする方針だ。

れ、モニター越しのものを
けば、普段の教室そのも

の除く予定だ。遠隔授業の本格運用を目指し、資料のデジ

隣近所と相談しながら解いてみよう

れば、モニター越しのものを除けば、普段の教室そのもの運用を目指し、資料のデジタル化を予定だ。遠隔授業の本格化へとつなげよう。